

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 42 回会合 議事録

開催日時： 2023 年 11 月 27 日(月)17:00-19:07

開催場所： オンライン開催

主催： 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会(JAIPA)

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)

参加者（五十音順・敬称略）

姓	名	所属	姓	名	所属
飯田	陽一	総務省	西潟	暢央	総務省
今井	正治	京都情報大学院大学	Hamada	Tadahisa	JCAFE
片柳	早苗	総務省	堀田	博文	JPRS
加藤	幹之	MK Next	洪	瑋廷	個人参加
河内	淳子	CFIEC	Honda	Sei	個人
木村	孝	JAIPA	前村	昌紀	JPNIC
Kohno	Miya	Cisco Systems	松平	直樹	フリーランス
Suga	Yuji	Internet Initiative Japan Inc.	望月	俊晴	総務省
高松	百合	JPRS	山崎	信	JPNIC
立石	聡明	JAIPA			

参加者数： 20 名

司会進行： 加藤 幹之

議事録作成：山崎 信

資料：

1. [プログラム草案](#)
2. [今後の検討方向について（加藤私案）](#)

アジェンダ：

1. 本日の打合せの目的確認

- IGF 2023 ホスト(政府)からの報告
- IGF マルチステークホルダー諮問グループ(MAG)からの報告
- IGF 2023 報告会の進捗状況報告
- 本チームの今後について

2. 前回議論の振り返り

- 第 41 回会合の概要：[第 41 回議事録](#)

3. 宿題の進捗確認

[IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム todo 一覧表](#)を参照のこと

4. IGF2023 ホスト（政府）からの報告 [10 分]

- 飯田さんより IGF 京都 2023 について報告：
 - バイ（二国間、二者間）会談が多くセッションはあまり出られなかった
 - 国連事務局および様々な方々より過去最高の会議と褒められた
 - 事務局では今年の総括中
 - 来年の IGF のホスト国はサウジアラビアで決まっているが、京都 IGF では議論になった
 - 来年の（国連）未来サミットに向けグローバルデジタルコンパクト(GDC)の議論をフォローしたい。GDC が WSIS+20 に繋がっていくと思うので、WSIS+20 を越えてもさらに(IGF が)続くことを目指し、色々な国の色々なプレイヤーと協力したい

5. IGF MAG からの報告 [5 分]

- 河内さん来年度も MAG メンバーを継続
- 12 月中旬で次回会合調整中

6. IGF 2023 報告会進捗状況[20 分]

- [プログラム枠案](#)
- 開催日は 12/26(火)・27(水)15 時半～で決定とする。
- 詳細はプログラム委員会で割り振りを行うこととする。
 - 感想・意見交換セッションは各日発表セッションの後に開催する
- レポートは事前会合と同様、CFIEC の方々が作成いただけることとなった

7. 本チームの今後[30 分]

- タスクフォースは会員組織を集めるまでは残しておき、新組織に引き継ぐべきなのではないか。
- インターネットガバナンスの中身についても議論する場を作ることにより、より広い範囲の人が入って来れるのではないか。
- マルチステークホルダーモデルとは何か、何が実現できればよいのか、ということ議論しなければならないのではないか。

- 各ステークホルダーが輪番で議論を開始してはどうか。
- [今後の検討方向について（加藤私案）](#)の「7.日本の NRI として登録し、内外の関係者、関係機関と連携して活動」を6に先駆けてやるべき
 - IGFの根は国連（UN DESA）なので、政府からすると建て付けは気になる
 - もう少しこの議論についてはスピードアップしてほしい
 - ボランタリーというよりも、業務として定義できるか、ではないか
- 特に事務局業務について、100%ボランタリーなのか、業務としてやるのか、は詰めた方がよいのではないか？
- NRI コンタクトポイント／コーディネーターは法人化した際の事務局が担当することになるのか？→必ずしもそうではない
- 法人化を進めるグループを作りたいと考える＝ばらばらに検討するのではなく、チームで検討すべき
 - 8項目を具体的に実装するための検討を行う
- 法人化する際の発起人は組織か、個人か？→中身の議論をする部分と、支える事務局的部分とは必ずしも同じでなくてよいのではないか
- 日本 IGF タスクフォース側でも議論が必要
- [今後の検討方向について（加藤私案）](#)の8項目をブラッシュアップして活発化チームおよびタスクフォースに提案するための具体化作業を行うチームに参加いただける方々を募集したい
- 前回(第41回)会合時の議論
 - IGF 京都以降の国内での IGF 活動をどうするか、ということについて、活発化チームと日本 IGF タスクフォースと IGCJ (と IGF-Japan) を統合して一つにまとまって活動できないかと考えている。
 - 独自の名前で会議を招集したり、寄付を受けられるような法的な仕組みを作るという意味でも法人化について議論したい。大掛かりにするのではなく数十万円で法人を維持できるので、できる範囲で限られた予算で継続するのがよいと思う。
 - IGF 事前会合と報告会だけでなく、IG のサブスタンス／中身に関する勉強会なども開催したい。
 - 事務局機能の一翼を担うため、一般財団法人国際連携推進センター(CFIEC)も JPNIC、JAIPA に加わることになるだろう。
 - この国(NRI)は真似したいなどのロールモデルはあるか。→ブラジル、ドイツ、フランス、欧州(EuroDIG)、アルゼンチンが挙げられた。
 - コメントは[今後の検討方向について（加藤私案）](#)に記入していただくこととなった。
- 第40回会合時の議論
 - 活発化チーム活動の総括をした方がよいのではないか。
 - マルチステークホルダーでの参加
 - 会費を集めてコストを回収するなどの検討を行ってはどうか
 - 日本の NRI がこれでよいのか、どう改めていくか
 - IGF2024 サウジアラビアを目指して活動してはどうか
 - 何をやらなければならないかを整理する
 - 開店休業中の既存団体との関係性、立ち位置を考えた方がよいのでは

- IG と IGF とを分けるべきか、IG に関わりたいのか IGF に関わりたいのか
- 第 39 回会合時の提議（特に異議なし）
 - IGF 京都 2023 後について考えたい
 - 本活動は IGF 京都で終了するのではなく、将来が決まるまでは継続する
 - IGF 京都の報告会を実施したい
 - 継続に当たっては活発化チームの名前を変える必要がある。
 - 同時に運営方法も検討したい

8. 本日の議論を受けた Todo 確認 [5 分]

- 今後の検討方向について（加藤私案）を実現するための小チームに参加したい方は手を挙げる
- IGF 報告会の準備

9. 次回打合せについて [5 分]

- 次回アジェンダ（たたき台）
 - IGF 報告会について
 - 国内 IGF 活動の今後について
- 次回打合せの開催時期
 - 4 週間後は 12 月 25 日(月)となるが、3 週間後の 12 月 18 日(月)年内に開催するか、1 月 8 日(月)など年明けとするか、1 回飛ばして次回は 1 月 22 日とするか？→12 月 18 日(月)とする

10. その他

- 特になし

以上